

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成25年度 (2013年度)	授業科目	美術
科目基礎情報					
科目番号	0017		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	美術2 (光村図書出版)				
担当教員	今野 安健				
到達目標					
日常における美に対する感性を高める					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	課題 (提出作品) が良くできている		提出している		提出していない
評価項目2	授業の取り組みの姿勢・態度が熱心である。		授業に出席している。		授業を欠席する。
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	絵画制作全般を通して、日常の美に対する捉え方や感性を高める。				
授業の進め方・方法	主に実技 (デッサン等) を通して、形のとらえ方、表現方法の基礎を学ぶ。				
注意点	学生の個性に留意する事。 下記の評価割合の詳細は、発表 (作品提出) が80% (総合評価40%、基礎的能力40%)、相互評価10%、取り組み (態度) 10%である。				
事前・事後学習、オフィスアワー					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・グレースケールの作成	鉛筆の硬さ、筆圧の違いによる濃淡の違いがわかるようになる。	
		2週	・石膏デッサン (基礎図形) ①	構図・パースが理解できる。	
		3週	・石膏デッサン (基礎図形) ②	構図・パースが理解できる。	
		4週	・仮想描写 自分の使いたいマグカップをデザインする (着彩)	発想、デザイン力を養う。	
		5週	・石膏デザイン (胸像) ①	形・明暗の違いが捉えられるようになる。	
		6週	・石膏デザイン (胸像) ②	形・明暗の違いが捉えられるようになる。(5回と同じモチーフで)	
		7週	・人物デッサン① (自分の手)	質感の (石膏との) 違いが表現できるようになる。	
		8週	・人物デッサン② (自画像または有人像)	質感の (石膏との) 違いが表現できるようになる。	
	2ndQ	9週	・写生 (スケッチ後水彩着彩)	屋外のモチーフに対する理解ができるようになる。	
		10週	・石膏デッサン (胸像) ③	形の狂いが発見できるようになる。	
		11週	・石膏デッサン (胸像) ④	形の狂いが発見できるようになる。(10回と同じモチーフで)	
		12週	・想像画① テーマ設定 テーマを元にしたイメージのラフスケッチ	イメージの具現化と自由な発想を養う。	
		13週	・想像画② ひとつのテーマを元にした心象表現 (水彩着彩、カラーシュも可)	イメージの具現化と自由な発想を養う。	
		14週	・石膏デッサン⑤ 1年間のまとめ	少しでも楽しめるようになる。少しでも違いがわかるようになる。	
		15週	石膏デッサン⑥	少しでも楽しめるようになる。少しでも違いがわかるようになる。(14回と同じモチーフで)	
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			

		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	80	10	10	0	0	100
基礎的能力	0	40	10	10	0	0	60
専門的能力	0	40	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0